

マリンバック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-DVF2

はじめに

主な特長

本機はソニーのデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV7、DCR-TRV9、DCR-TRV10およびDCR-TRV900にお使いいただけるマリンパックです。

- 水深75mまでの撮影が可能。
- 水中での電源の入/切、録画開始/停止、オートフォーカスの入/切、フォトモード撮影（DCR-TRV9、DCR-TRV10およびDCR-TRV900のみ）、ズームなどの操作が可能。
- LCDモニター搭載。

必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、ビデオカメラレコーダーが正常に動作するか、またマリンパックに水漏れがないかを確認してから潜水を始めてください。
- 万一、マリンパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（ビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損害、記録内容および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- マリンパックおよび内部機器に対するソニー水中機材用損害保険をご用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。



このマークはソニー（株）ビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

目次

⚠警告・⚠注意	4
付属品を確かめる	6

準備

準備する	7
ビデオカメラレコーダーを準備する	7
マリンパックを準備する	9
ビデオカメラレコーダーを取り付ける	10

操作

撮影する	14
水中撮影の条件	16
ビデオカメラレコーダーを取りはずす	17

その他

リングについて	19
取り扱い上の注意	20
お手入れと保管	21
各部のなまえ	22
主な仕様	23
保証書とアフターサービス	24

警告 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使い方をすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口 to 修理を依頼する
- 万一異常が起きたら

変な音やにおいがしたら、煙が出たら

- 
- ① 電源を切る
 - ② お買い上げ店または、ソニーサービス窓口 to 修理を依頼する

 **警告** 下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。

潜水水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う

注意を怠ると、潜水事故の原因となります。



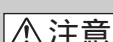
注意

万一、マリンバックに水漏れが発生した場合

浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。



注意

 **注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

陸上で運ぶときに落とさない

けがの原因となることがあります。



禁止

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがををしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止

行為を指示する記号



注意

電池についての安全上のご注意



下記の注意事項を守らないと火災・破裂により死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

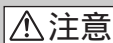
この項目はバッテリーパックにのみ適用となります。

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない(ショートすることがあります)。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。



下記の注意事項を守らないと火災などにより死亡や大けがの原因となります。

- 火のそばや炎天下などに放置したり、充電しない。
- ハンマーなどでたたいたり、踏み付けたり、落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

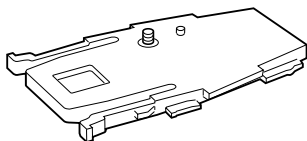


下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

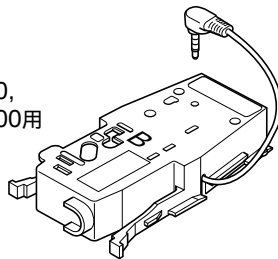
- 乾電池は+と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。
- プラグの付いたバッテリーパックは、ぬれた手でさわらない(感電の原因となることがあります)。

付属品を確かめる

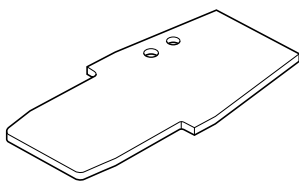
- 台座A(1)
DCR-TRV7用



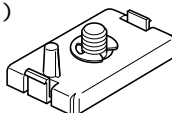
- 台座B(1)
DCR-TRV9,
DCR-TRV10,
DCR-TRV900用



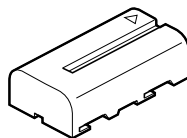
- 台座B用スペーサー(1)
DCR-TRV10用



- ネジプレート(1)
(台座B用)



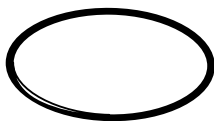
- モニター用バッテリー
(NP-F330)(1)



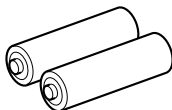
- ネジ回し金具(1)
台座Bに付属



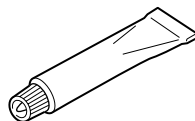
- Oリング(1)



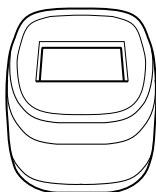
- 単3型乾電池(2)



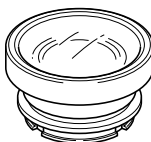
- シリコングリス(1)



- 遮光フード



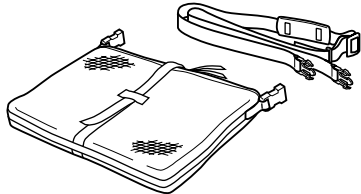
- 水中専用ワイド
コンバージョンレンズ(1)
(VCL-MK2)



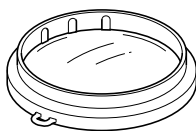
- 反射防止リング(2)
大: $\phi 37\text{mm}$
小: $\phi 30\text{mm}$



- キャリングバッグ(1)
- キャリングベルト(1)



- カラーフィルター(1)
(VF-MK2)



- バッテリークッション(1)
- 脱落防止用ひも(3)

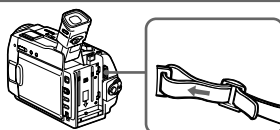
準備する

ビデオカメラレコーダーをマリンバックに取り付ける前に、次の**1**から**3**の準備を行ってください。イラストは限定のない限りDCR-TRV9です。

1 ビデオカメラレコーダーを準備する

ご使用のビデオカメラの種類によって準備の手順がちがいます。お手持ちのビデオカメラレコーダーの取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 1** ショルダーベルトをはずす。
フィルター、コンバージョンレンズなども取りはずしてください。



- 2** バッテリーを取り付ける。
十分に充電したバッテリーパックを取り付けてください。

- 3** カセットを入れる。

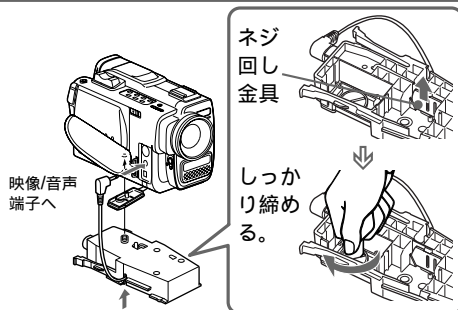
- 4** ビデオカメラレコーダーのレンズに反射防止リングを取り付ける。
DCR-TRV7/TRV9 - φ37mm(大) DCR-TRV900 - 不要
DCR-TRV10 - φ30mm(小)

- 5** 台座を取り付ける。
使用する台座の種類とネジプレートの取り付け位置は下表をご覧ください。ビデオカメラ底面の三脚用ネジ穴に台座のネジを合わせます。
台座Bに「ネジ回し金具」が付いていますので、はずしてお使いください。

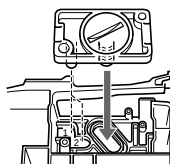
DCR-TRV9/TRV10/TRV900

台座Bを取り付けるには

- ① ネジプレートを台座Bの裏側から、ツメがカチッというまでしっかりとはめ込む。
- ② 台座BのAV ケーブルをビデオカメラレコーダーの映像 / 音声端子に接続してください。



台座A		DCR-TRV7
台座B	1	DCR-TRV9
	2	DCR-TRV900
	3	DCR-TRV10



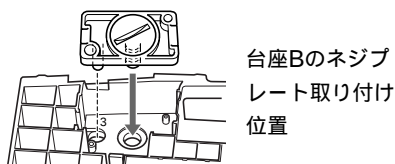
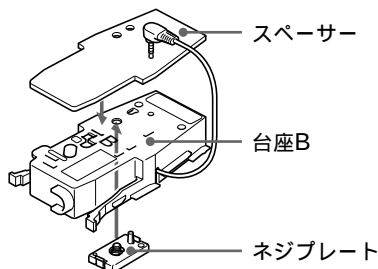
台座Bのネジプレート取り付け位置

準備する(つづき)

DCR-TRV10

台座Bを取り付けには、

- ① 台座Bにゴム製のスペーサーを取り付ける。
- ② ネジプレート上台座Bに取り付ける。
- ③ カメラを固定した後、台座BのAVケーブルをビデオカメラレコーダーの映像 / 音声端子に接続してください。



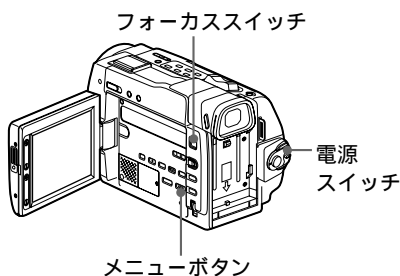
6

撮影可能な状態にする

- ① 電源スイッチを「カメラ」にする。
- ② メニューで「リモコン」を「入」にする。

- ③ **DCR-TRV9/TRV10/TRV900**
フォーカススイッチを上げ、「自動」にする。

DCR-TRV9/TRV10/TRV900

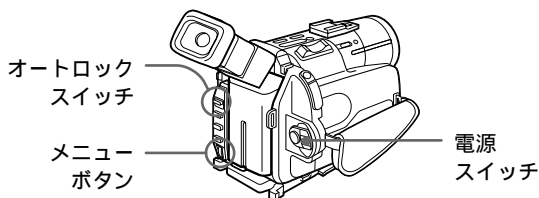


DCR-TRV7

オートロックスイッチを上げ、「オート」にする。

- ④ メニューで「画面表示」を「ビデオ出力 / パネル」にし、画面表示ボタンを押す。

DCR-TRV7



ご注意

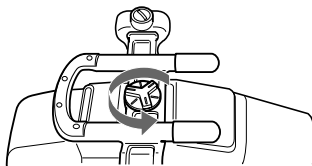
逆光補正、ナイトショット、ピクチャーエフェクト、プログラムAEなどの機能は「切」にしてください。

2 マリンバックを準備する

1

グリップをはずす。

グリップ底面のネジを回してはずします。



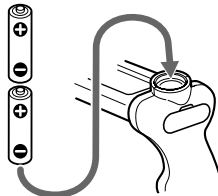
2

グリップに乾電池を入れる。

① コインなどでネジをはずす。



② ⊕と⊖の向きをまちがえないように付属の乾電池（単3形2個）を入れる。



③ ネジをしっかりと締める。

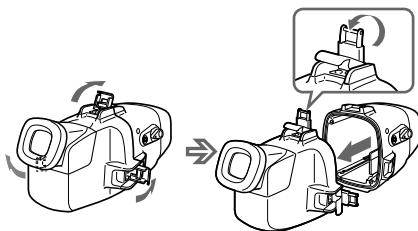


3

マリンバックを開ける。

3か所のバックルをはずして、マリンバックを開けます。

バックルを開けたときにファインダー方向に金具を持ち上げると、バックルが止まります。

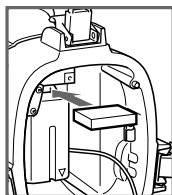
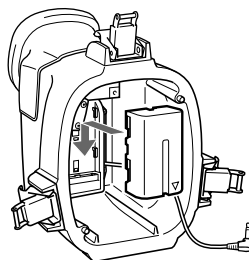


準備する(つづき)

4 モニター用バッテリーを取り付ける。

付属のモニター用バッテリー（NP-F330）を
後ハウジングに取り付けます。

バッテリーは取り付ける前に十分に充電し
ておいてください。



ご注意

強い衝撃を与えるとモニター用バッテリーがはずれることが
あります。付属のバッテリー用クッションを図のように差し
込んでください。

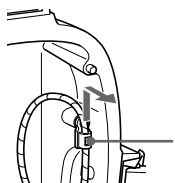
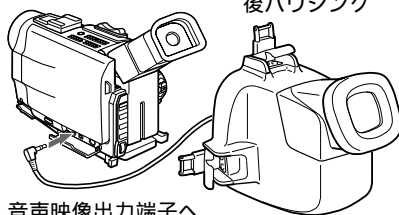
3 ビデオカメラレコーダーを取り付ける

DCR-TRV7をお使いのときはあらかじ
めモニターコードを音声映像出力端子へ
接続する。

このときモニターコード止めははずして
ご使用ください。

DCR-TRV7

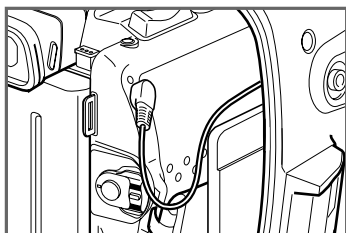
後ハウジング



モニターコード止め
上にスライドさせてから手前
引くとはずれます。

1

リモートコードとマイクコードをつなぐ。

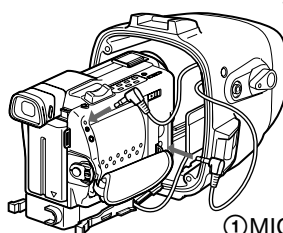


コードがひっかかったり、ねじれたりするのを防ぐため、プラグ類はイラストのような向きに差してください。

マイクコードをMIC (PLUG IN POWER) またはマイク (プラグインパワー) 端子へ (①)、リモートコードをLANC (リモート) 端子へ (②) 接続する。

DCR-TRV9/TRV10/TRV900

前ハウジング

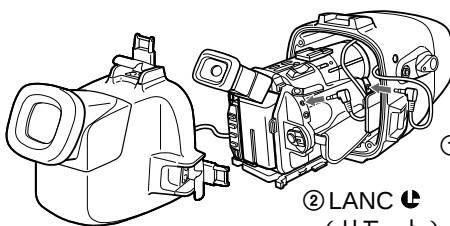


② LANC (リモート) 端子へ

① MIC (PLUG IN POWER) 端子へ

DCR-TRV7

前ハウジング



② LANC (リモート) 端子へ

① マイク (プラグインパワー) 端子へ

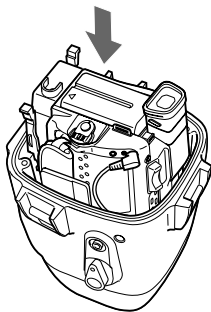
準備する(つづき)

2

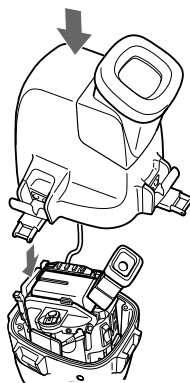
マリンパックに取り付ける。

台座をカチッと音がするまで差し込みます。

DCR-TRV9/TRV10/TRV900



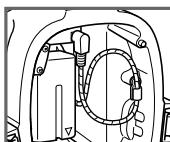
DCR-TRV7



3

モニターコードをつなぐ。

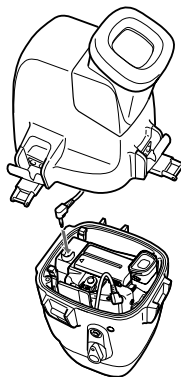
(DCR-TRV7をお使いのときは
この手順は不要です。)



モニターコードは本体
のプラグホルダーにさ
さった状態で出荷され
ています。

DCR-TRV9/TRV10/TRV900

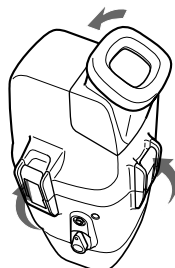
モニターコードを台座Bの端子に接続し
ます。



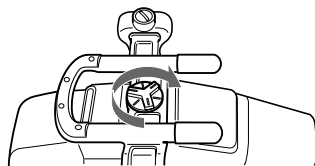
4

ハウジングをしっかりと押さえながら3か所のバックルを締める。

コードをはさまないように充分
ご注意ください。水漏れの原因
になります。



5 グリップを取り付ける。



これでマリンパックの準備は完了しました。
潜る前に必ず動作チェックを行ってください。

LCDモニターについて

- 準備2の手順4でバッテリーを取り付けても、ビデオカメラレコーダーを取り付けて電源を入れるまで、モニターには何も映りません。LCDモニターは電源の入 / 切に連動して映ります。
- LCDモニターに表示される電池残量時間は、ビデオカメラレコーダーに取り付けてあるバッテリーの残量時間です。LCDモニターの使用可能時間ではありません。

LCDモニター用バッテリーパックについて

満充電状態のNP-F330で連続使用した場合、撮影時間は約6時間です。

撮影可能な時間は使用状況により異なりますので、実際に使用した場合には使用時間が短くなることがあります。

付属バッテリーNP-F330について

ご使用にあたって

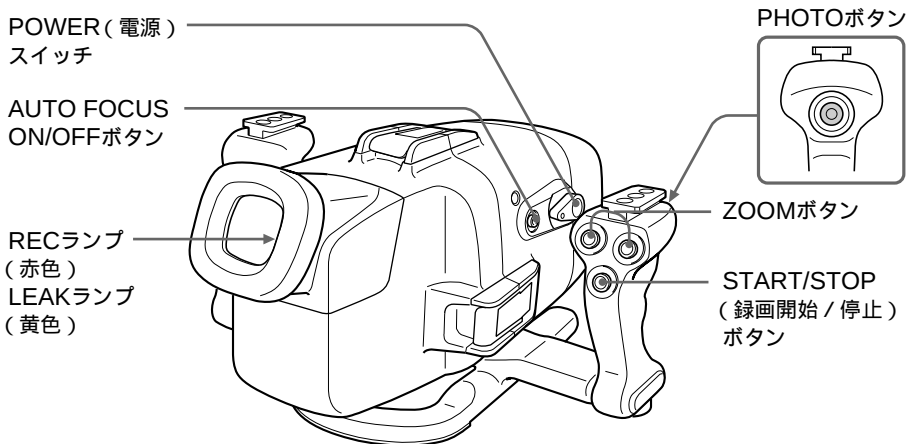
付属のバッテリーパックNP-F330を充電できるACアダプター / チャージャー (NP-F550の充電に使用できるもの) (別売) をご用意ください。

- 本機のLCDモニターはインフォリチウムバッテリーの通信機能に対応していません。
- InfoLITHIUM (インフォリチウム) バッテリーとは
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。DCR-TRV7 / TRV9 / TRV10 / TRV900は“インフォリチウム”バッテリー対応です。“インフォリチウム”バッテリーには $\text{\textcircled{I}}$ InfoLITHIUMマークが付いています。InfoLITHIUM (インフォリチウム) はソニー株式会社の商標です。

乾電池について

- 電池の交換時期は約6か月です。
- 乾電池の使い方を誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ずお守りください。
 - $\oplus$ と $\ominus$ の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池を使用済み乾電池、または種類の違う乾電池と混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間お使いにならないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液漏れしたときは、電池入れに付いた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

撮影する



1

POWERスイッチを下げる。

ビデオカメラレコーダーの電源が入ります。

2

START/STOPボタンを押して撮影を開始する。

RECランプが点灯します。

撮影を止めるには

START/STOPボタンを押す。

ズームするには

ZOOMボタンを押す。

T側を押し続けると徐々に望遠になり、W側を押し続けると徐々に広角になります。

可変速の機能は働きません。

フォトボタンを押すと

押したときに映っている画像(静止画)が記録されます(DCR-TRV9、DCR-TRV10およびDCR-TRV900)。フォトボタンを軽く押して画像を確認することはできません。

また、DCR-TRV10およびDCR-TRV900ではメモリーフォト撮影はできません。ビデオカメラレコーダーの取扱説明書を合わせてご覧ください。

フォーカスを合わせた後、ずれないようにするには

AUTO FOCUS ON/OFFボタンを押す。

被写体とカメラの間を魚が通っても、フォーカスはずれません。

もう一度ボタンを押すと、オートフォーカスがONに戻ります。

撮影前のご注意

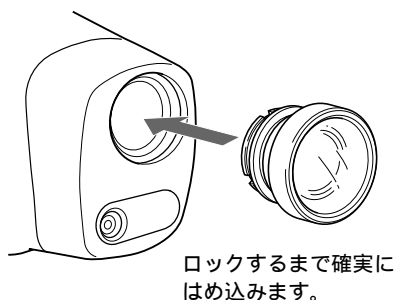
水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に動作するか、水漏れはないか確認してから潜水を始めてください。

撮影中のご注意

グリップとマリンバックの間はワイヤレスリモコンによる操作をしています。指などでさえぎらないようにご注意ください。

ワイドコンバージョンレンズ (付属)を使うには

ワイドコンバージョンレンズを取り付けると被写体は小さくなりますが、撮影できる範囲は広がります。

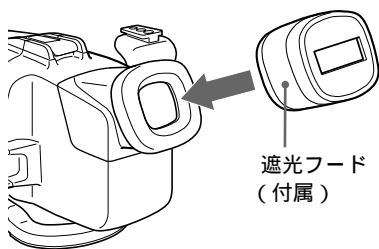


このワイドコンバージョンレンズは水中専用です。

カラーフィルターはワイドコンバージョンレンズの上に取り付けます。

遮光フード(付属)を使うには

LCDモニターが見えづらいときは、付属の遮光フードを取り付けてください。



ワイドコンバージョンレンズや遮光フード、カラーフィルターは水中でも取りはずしできます

マリンバックとレンズやフィルターとの間に空気が残ってしまったときは、水中でいったんはずしてから付けなおしてください。

これらの付属品を取りはずしたとき紛失しないように、付属の脱落防止用ひもを取り付けてください。

水漏れが起きたら

マリンバックの防水には万全の措置をとっておりますが、万一水漏れが起きた場合は、LEAK(水漏れ警告)ランプ(黄色)が点滅します。

LEAKランプ(黄色)



水漏れが起きたら、マリンバックを水平に保ち、浮上時の減圧時間を守って浮上し、やわらかい布などでマリンバックをよく拭いてください。マリンバックを開けてリモートコードを抜くと、ランプが消えます。

水漏れが起きたときは、マリンバックおよびビデオカメラレコーダーを至急お近くのソニーサービス窓口にお持ちください。

脱落防止用ひもの取付方法



それぞれの付属品に取り付けた後でマリンバックのグリップに脱落防止用ひもを掛けて取り付けてください。

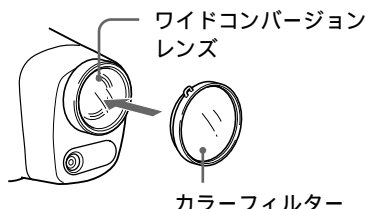
水中撮影の条件

水の中は、水深、水の透明度、光線の状態などの影響を受け、陸上とは異なった撮影条件になっています。以下の基本的な条件をよく理解して、楽しいビデオプログラムを制作してください。

水中での色は

水は光を吸収する性質を持っています。特に赤系統の色は吸収されやすく、青系統の色は吸収されにくいので、水深の深いところや遠くにあるものは青みがかって見えます。

実際の色に近い色で撮影したいときは、付属のカラーフィルターをお使いください。



撮影に適した時間は

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、強力な水中ビデオライトをお使いください。

水中での物の大きさは

水中では水の屈折率が大きいので、陸上より約1/4距離が近くに、また実際より物が1割ほど大きく見えます。この現象は、人間の目のレンズだけでなく、ビデオカメラのレンズにとっても同じです。水中ではレンズの撮影画角（画面に入る範囲）が狭くなりますので、もともと広い範囲が写せるワイドコンバージョンレンズ（付属）の使用が有効です。

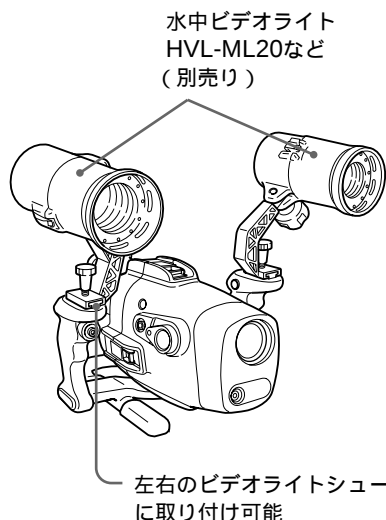
安定した体勢で、ゆっくりしたカメラワークを

安定した姿勢で撮影してください。ちょっとしたゆれも、後でテレビ画面で見ると拡大され、見苦しくなってしまうことがあります。

ビデオカメラレコーダーはできるだけゆっくり動かしてください。被写体の方が動いてくれますので、いろいろなテクニックを使わず、じっと構えているだけでも、魅力的なプログラムを作ることができます。

水中ライトについて

水深の深いところや岩棚の下など、太陽光が直接届かないところでは、水中ビデオライトを使うことをおすすめします。



水中撮影のご注意

- 潜水時間・潜水深度など、基本的な潜水ルールは必ず守ってください。
- 撮影の前にフロントガラスの外面に付いた気泡を取り除いてください。

ビデオカメラレコーダーを取りはずす

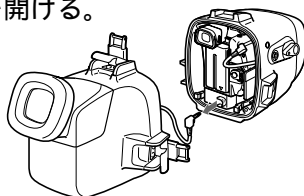
最初にマリンパックを水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってから開けてください。また、体や毛髪に付いた水滴、ウェットスーツのそで口から出る水がビデオカメラレコーダーにかからないようにご注意ください。

1 グリップをはずす。

2 バックルを3か所はずしてマリンパックを開ける。

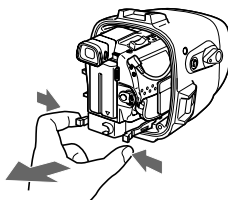
DCR-TRV9/TRV10/TRV900

モニターコードを台座Bからはずす。

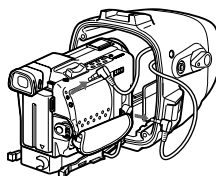


3 台座を引き出す。

台座を引き出すときに、ケーブル類を無理に引っばらないようご注意ください。



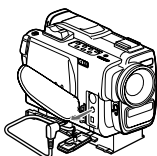
4 リモートコード、マイクコードをはずす。



5 モニターコードをはずす。

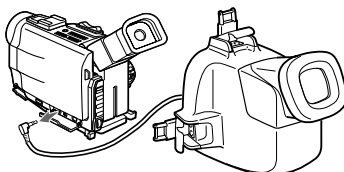
DCR-TRV9/TRV10/TRV900

台座BのAVケーブルをビデオカメラレコーダーの映像 / 音声端子からはずす。



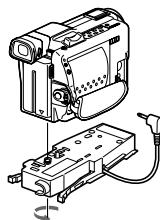
DCR-TRV7

モニターコードをビデオカメラレコーダーの映像 / 音声端子からはずす。



ビデオカメラレコーダーを 取りはずす(つづき)

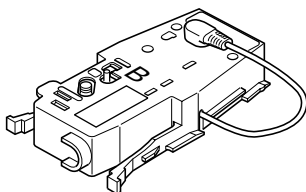
6 台座を取りはずす。



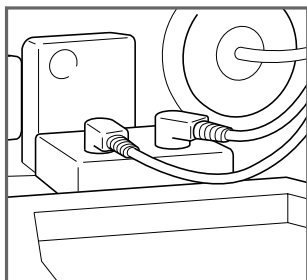
7 モニター用のバッテリーを取りはずす。

ご使用後は

- 台座BのAVケーブルは台座のホルダーに差ししておく。



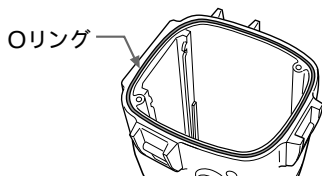
- 本機のリモコンプラグとマイクプラグは、前ハウジング内側のコードホルダーに差ししておく。



Oリングについて

本機はOリングを使用して防水性を保っています。Oリングの機能を充分に生かすため、次の点にご注意ください。

Oリングの取り扱い方が不適切だと浸水の原因になります。



Oリングに傷やヒビ割れはありませんか

傷、ヒビ割れは浸水の原因になります。直ちに付属のOリングと交換してください。Oリングをはずすときにとがったものや金属を使うと、溝に傷が付くおそれがありますので、使用しないでください。また、Oリングを取り付けるときはねじらないように注意してください。

ゴミや砂、毛髪は防水の大敵です

Oリング、溝、Oリング接触面に、ゴミや砂、毛髪などが付いていないことを確認してください。付いている場合は、きれいに取り除いてください。

そのままバックルを締めると、Oリングや接触面に傷が付き、浸水の原因になります。

グリスを塗りましょう

グリスはOリングの表面を保護し、磨耗を防ぎます。

Oリングに傷やゴミ、ホコリなどが付いていないことを確認してから、付属のシリコングリスを指先で全面に薄く塗ってください。このとき、指先で傷やゴミのないことを再確認してください。

布や紙にシリコングリスを付けて塗ると、繊維がOリングに付着することがありますので使わないでください。

付属のシリコングリス(部品番号 2-115-921-01)がなくなったら、ソニーサービス窓口にてお買い求めください。

前後ハウジングを合体するときは

Oリングが溝からはずれないことを確認してから前後のハウジングを合わせてください。Oリングをさはみ込むと、Oリングに傷が付くだけでなく、マリンバック内部への浸水の原因にもなります。

Oリングの保管は

予備のOリングは、梱包箱に入れたまま直射日光のあたらない涼しい場所に保管してください。重いものをのせたり、折り曲げたりしないでください。

Oリングの耐用年数は

使用回数や保存状態などで変わりますが、1～2年くらいです。

Oリング(部品番号 3-977-362-01)はソニーサービス窓口でお買い求めください。

取り扱い上の注意

- 海辺や海上でのマリンバックの開閉は、できるだけ避けてください。ビデオカメラレコーダーの取り付けなどの準備は、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- マリンバックを水中に投げ込まないでください。
- 高温多湿な場所や炎天下でのご使用は避けてください。

結露やビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。やむを得ず、直射日光のあたる場所に置く場合は、タオルなどを上からかけてマリンバックとビデオカメラを保護してください。

ビデオカメラレコーダーについて

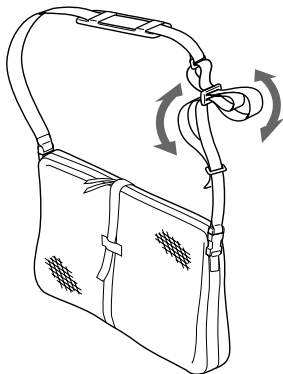
- バッテリーはできるだけ容量の多いものをお使いください。また、お使いになる前に十分に充電をしておいてください。
- 万一ご使用中に水漏れが起きたとき、またはビデオカメラレコーダーに水がかかったときは、直ちにお近くのソニーサービス窓口にお持ちください。
- 海で長時間お使いになった後は、ソニーサービス窓口で点検を受けることをおすすめします。

マリンバックを運搬するときは

- ビデオカメラレコーダーは、マリンバックから取り外してください。取り付けのまま運搬すると、ビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。
- 前ハウジング内側にある穴(コードホルダー)に、リモコンコードとマイクコードを差し込んでください。

付属キャリングバックをお使いになるときは

キャリングベルト(付属)を取り付け、ベルトの長さを調節してください。



運搬するときは、衝撃や傷などを避けるため、マリンバックをタオルなどにくるむことをおすすめします。

お手入れと保管

ご使用後は

マリンバックに塩分が付いたままにしておくと、金属部分がさびたり、操作つまみの動きが悪くなったりします。また、塗装の傷から海水が入り込むと塩分でマリンバック本体の金属部分がさびたり、塗装が剥離したりすることがあります。海中撮影後は、バックルをはずす前に水道水または真水に30分程度浸して、マリンバック本体やフィルター、ワイドコンバージョンレンズに付いた塩分を充分に取り除いてください。水洗いした後は、マリンバックの内部や収納していたビデオカメラレコーダーを、乾いたやわらかい布でよく拭き、水分を取ってください。

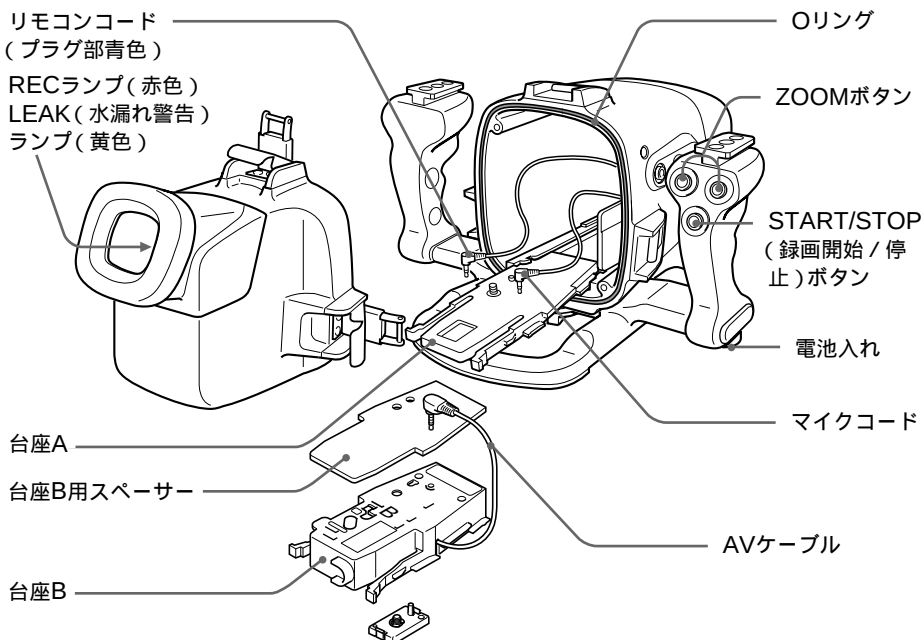
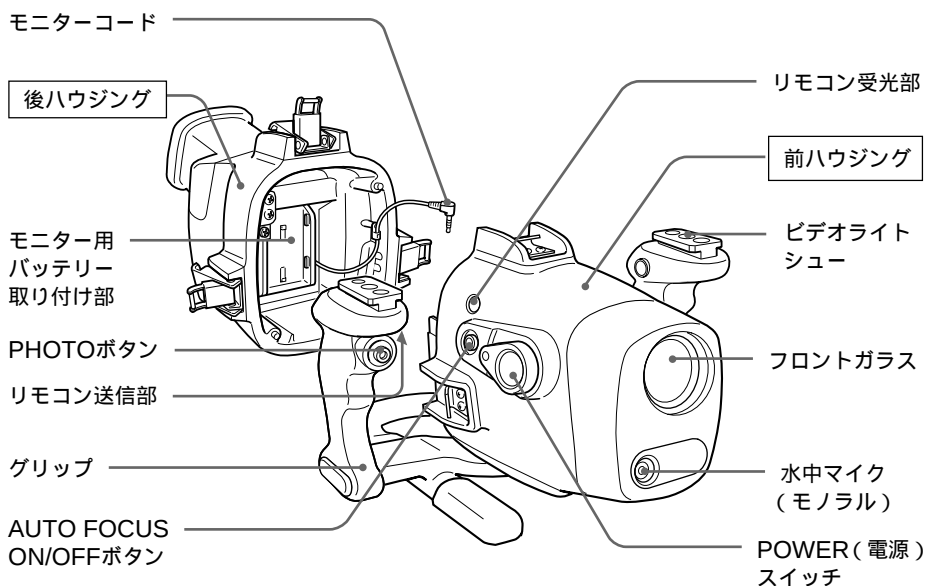
上記のお手入れは、マリンバックをご使用のたびに必ず行ってください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。

保管するときは

- Oリングにシリコングリスを薄く塗って溝にきちんと入れ、風通しのよい涼しいところに置いてください。このときバックルは締めないでください。
- 高温、多湿、極端に気温の低い場所や、ナフタリン、樟腦の入った場所での保管は、機材をいためますので避けてください。

各部のなまえ



主な仕様

材質

アルミニウム合金、ガラス、プラスチック (ABS、PC)

防水構造

Oリング圧着式、3バックル

耐圧

水深75 mまで

水中マイクロホン

コンデンサーマイクロホン (モノラル)

外部より操作可能な機能

電源入 / 切、録画開始 / 停止、オート
フォーカス入 / 切、電動ズーム
フォト撮影 (DCR-TRV9、
DCR-TRV10、DCR-TRV900)

最大外形寸法

約297×212×318 mm
(幅/高さ/奥行き)

質量

約4.2 kg (本体のみ)

付属品

台座 (2)
台座B用スペーサー (1)
ネジプレート (1)
ネジ回し金具 (1)
ワイドコンバージョンレンズ (1)
カラーフィルター (1)
モニター用バッテリー (NP-F330) (1)
単3形乾電池 (2)
シリコングリス (1)
Oリング (1)
遮光フード (1)
反射防止リング (2)
脱落防止用ひも (3)
バッテリークッション (1)
キャリングバッグ (1)
キャリングベルト (1)
取扱説明書 (1)
保証書 (1)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)
水中機材用損害保険のご案内 (1)

別売りアクセサリ

水中ビデオライト (HVL-ML20)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

そ
の
他

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 保証書は日本国内のみ有効です。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間で

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。また、ご要望により耐水圧試験を行う場合は、有料となります。

当社ではマリnpバックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：MPK-DVF2
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Sony online

<http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan